※令和４年度以降入学生用

学校番号	1009

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	(学)古典基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	精選　「古典探究」　（第一学習社）						
副教材等	「完全頻度順　入試対策ベストセレクション　古文単語 325　改訂版」　（尚文出版） 「新版六訂　カラー版　新国語便覧」（第一学習社） 「新精選　古典文法　三訂版」（東京書籍）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業では、課題に対して自ら考え、周りと協働で考え、発言していくための活動を行います。
多くの文章を通して、「読む力」と「書く能力」をしっかりと身につけ、それらを活用して、自らの考えや著者の心情を理解し、それらを他者に上手に伝える力をつけてください。
家庭学習における課題は、定期的に提出してもらいます。最後まであきらめず、しっかりと取組みましょう。
授業中のノートについては、板書を書き写すだけではなく、授業のポイントや、自身で気付き、調べた内容を記入し、他者が見ても、見やすいと思えるようなノートに仕上がることを目標としましょう。

２　学習の到達目標

現代とは異なる言葉を学ぶことで、今とは違う文化やモノの見方・考え方を知り、言語活動を通して、国語で的確に理解し、効果的に表現する資質・能力を次のとおり育むことをめざす。
(1)教材を通して、今とは違う時代や文化に思いを寄せ、他者と意見を交わすなど、積極的な交流の時間を活用して、古典の世界に対する理解を深められるような基礎を身につけることができるようになる。また、それに付随した知識や技能を、小テストなどを活用して高めていく。
(2)他者との関わりの中で、論理的に考える力や、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようになる。
(3)教材を通して、現代とは趣向の異なる表現を学ぶことで興味・関心を引き出し、言葉へのさらなる探究心を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代とは異なる国語について、適切に理解している。	他者との関わりの中で、自分の思いや考えを広げ、それらを発信するだけでなく、他者の意見に耳を傾け、協働することができる。	言葉を通して、自らの思いや考えを発信するだけではなく、より深く言葉や文化を学ぶことができている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	著名な和歌にまつわる話を読み、説話として語り伝えられた背景事情について理解を深める。 ［教材］ 古今著聞集	a：基礎古語の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、語彙を豊かにしている。 我が国の言語文化に特徴的な語句の文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 b［書］：自分の思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫することができる。 c：進んで文語のきまりや古典特有の表現を理解し、学習課題に沿って作者の考えを的確にとらえようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート その他課題	ワークシート ノート 振り返りシート
	鎌倉初期という時代の転換期に作者が抱いた、人の世に対する思いを通して、ものの見方や考え方を深める。 ［教材］ 方丈記	a：古典の世界に親しむため、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。また、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b［読］：内容や構成、展開などについて叙情を基に的確にとらえている。また、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c：進んで文語のきまりや古典特有の表現を理解し、学習課題に沿って作者の考えを的確にとらえようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート その他課題	ワークシート ノート 振り返りシート
	争乱と政変の時代を生きた作者の、世の諸事象に向けた批評の目を通して、ものの見方や考え方を深める。 ［教材］ 徒然草	a：古典の世界に親しむため、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。また、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b［話／聞］：内容や構成、展開などについて叙情を基に的確にとらえている。また、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c：進んで文語のきまりや古典特有の表現を理解し、学習課題に沿って作者の考えを的確にとらえようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート その他課題	ワークシート ノート 振り返りシート
	現在使われている言葉の由来となった漢文を読み、漢文が日本語に与えた影響について理解を深める。 ［教材］ 推敲 呉越同舟	a：言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 b［読］：内容や構成、展開などを的確にとらえている。 c：進んで漢文の形式ときまりを理解し、漢文に描かれた情景や心情を読み取り、優れた表現に親しもうとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 その他課題	ワークシート ノート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

2学期	歌物語と作り物語の二つの系譜を受け継ぐ長編物語を読んで、人物造形や心理描写の一端に触れる。 ［教材］ 源氏物語	a：基礎古語の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、語彙を豊かにしている。 我が国の言語文化に特徴的な語句の文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 b[読]：作品や文章に表れているものの見方、感じ方考え方をとらえ、内容を解釈している。また、内容の解釈をふまえ、自らのものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の古典について自らの考えをもっている。 c：進んで文語のきまりや古典特有の表現を理解し、学習課題に沿って作者の考えを的確にとらえようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート その他課題	ワークシート ノート 振り返りシート
	物語の中で和歌が果たしている役割を抑えながら、場面と登場人物の心情とを読み味わう。 ［教材 伊勢物語	a：基礎古語の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、語彙を豊かにしている。 我が国の言語文化に特徴的な語句の文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 b[書]：自分の思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫することができる。 c：進んで文語のきまりや古典特有の表現を理解し、学習課題に沿って作者の考えを的確にとらえようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート その他課題	ワークシート ノート 振り返りシート
	史伝を読んで登場人物の言動を押さえ、韓信のとった作戦の巧みさを理解する。 ［教材］ 背水之陣	a：我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[話／聞]：内容や構成、展開などを的確にとらえている。 c：進んで漢文の形式ときまりを理解し、漢文に描かれた情景や心情を読み取り、優れた表現に親しもうとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート その他課題	ワークシート ノート 振り返りシート
	登場人物の描写を読み解くことを通して、戦乱の時代を生きた人々の人物像について考察を深める。 ［教材］ 鴻門之会	a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[話／聞]：内容や構成、展開などを的確にとらえている。 c：進んで漢文の形式ときまりを理解し、漢文に描かれた情景や心情を読み取り、優れた表現に親しもうとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート その他課題	ワークシート ノート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

3学期	歴史物語という、実際の歴史に取材した物語を読み、宮中を中心とする権力者たちの姿の一端に触れる。 ［教材］ 大鏡	a：古典の世界に親しむため、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。また、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]：内容や構成、展開などについて叙情を基に的確にとらえている。また、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c：進んで文語のきまりや古典特有の表現を理解し、学習課題に沿って作者の考えを的確にとらえようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート その他課題	ワークシート ノート 振り返りシート
	女性による日記文学の先駆となった作品を読んで、自己の内面を赤裸々に書き綴った心理描写に触れる。 ［教材］ 蜻蛉日記	a：基礎古語の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、語彙を豊かにしている。 我が国の言語文化に特徴的な語句の文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 b[話／聞]：内容や構成、展開などについて叙情を基に的確にとらえている。また、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c：進んで文語のきまりや古典特有の表現を理解し、学習課題に沿って作者の考えを的確にとらえようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート その他課題	ワークシート ノート 振り返りシート

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　１０　）時間

・書くこと　…　（　２０　）時間

・読むこと　…　（　４０　）時間